

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人 溪明会

目 次

I. 事業結果	2
1. 法人体制	3
2. 法人人事	3
3. 事業実績	3
II. 令和6年度 事業所取り組み結果	5
障害者支援施設 溪明園からまつ	5
障害者支援施設 溪明園あすなろ	5
多機能型事業所 溪明園めるへん	6
障害者支援施設 花椿きらめき	6
障害者支援施設 花椿あおぞら	7
多機能型事業所 花椿かがやき	8
ホームやつわ、ホームあやこ、ホームいするぎ	9
ホーム柴田屋、ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第2	9
日中サービス支援型ホームごごみ	10
放課後等デイサービス事業所 きっずるーむクローバー	11
放課後等デイサービス事業所 きっずるーむごごみ	12
障がい者サポートセンターきらり(相談系事業)	12
障がい者サポートセンターきらり(障害者就業・生活支援センター事業)	13
砺波圏域障害者基幹相談支援センター	13
III. 令和6年度 地域との関わり、貢献等	14
IV. 令和6年度 委員会等報告	15
V. 統計資料	
1. 法人本部	18
2. 障害者支援施設 溪明園からまつ、障害者支援施設 溪明園あすなろ	21
3. 多機能型事業所 溪明園めるへん	24
4. 障害者支援施設 花椿きらめき、障害者支援施設 花椿あおぞら	26
5. 多機能型事業所 花椿かがやき	29
6. グループホーム(ホームやつわ、ホーム柴田屋、 日中サービス支援型ホームごごみ)	31
7. 放課後等デイサービス事業所 きっずるーむクローバー	32
8. 放課後等デイサービス事業所 きっずるーむごごみ	34
9. 障がい者サポートセンターきらり	37
10. 砺波圏域障害者基幹相談支援センター	38

I 事業結果

令和6年度はコロナ禍からの回復期にあたる一方で、職員の確保の課題や物価やエネルギーコストの上昇により、福祉現場を取り巻く環境は厳しい状況であった。このような状況下においても、利用者の生活を支える支援の質を維持・向上させるとともに、職員が安心して働ける職場環境づくりに取り組んだ。

1) 経営状況

令和6年度の障害福祉サービス収入は、総じて前年比、利用率等に大きな変動はなかったが、一部の共同生活援助（グループホーム）では、利用率の低下及びサービス単価の引き下げにより減収となった。一方、重度障害者支援加算を追加算定する入所施設やサービス単価が引き上げられた相談事業所、新たな加算を算定した事業所では収益が増加した。また処遇改善加算の増額も後押しとなり、法人全体では1,122百万円で前年度比52百万円の増収となった。

一方、支出費用では職員の処遇改善による人件費の増加に加え、諸物価高騰の影響を受けたものの、サービス活動増減差額は76百万円を確保し、安定した収支状況を維持した。

2) 利用者支援

利用者の生活の充実に図るために、新型コロナウイルス感染予防対策として、中止していた各種行事を、地域の感染状況を伺いながら小旅行など規模を縮小し段階的に再開した。

利用者への不適切な支援が見受けられた事業所については、行政に報告し、聞取りを受けた。職員に対しては、虐待の定義確認や研修の実施、メンタルヘルス支援の強化など、再発防止に向けて対応策を講じた。

3) 職員確保および職員支援

全国的な人材不足の影響もあり補欠職員の確保は、困難を極め、様々な手段を講じて求人活動を行った。職員の様子や職場の雰囲気ホームページやSNS等を通じて発信したところ、それを見て応募する求職者も複数見られ、一定の成果があった。

諸物価や燃料費等が高騰する中、職員の福利向上の一助として、処遇改善加算を活用し新たな手当を創設したり、通勤手当をガソリン単価に連動した制度にするなど処遇改善を進めた。また、役職ごとの手当をその責任に応じた額に見直すことで、職務に対する適正な評価とモチベーションの向上を図った。

4) 業務体制の強化・情報共有

業務の質の向上および情報共有の促進を目的として、サービス管理責任者、看護師、栄養士の専門職種毎の会議を定期的で開催し、職種間の連携を高めた。管理職にあつては、迅速な意思決定と情報共有を図るため、オンラインツールを導入し、連携体制の強化を図った。

また、AI活用に向けた職員研修を実施するとともに、外部コンサルタントの支援のもと将来的な業務効率化への基盤整備を開始した。

更に、保護者への有事等の連絡手段として、SNSサービスを導入し、緊急時の迅速な情報伝達を図ると共に安心感を付与した。

5) 施設整備

環境負荷の軽減および運営コストの削減を目的に、花椿の省エネ化に向けた改修工事を実施した。

1 法人体制

(1) 理事会・評議員会等

理事会を2回、評議員会を1回、監事監査を1回開催。

(2) 会議

会議名	参加者	内容	開催
経営委員会	理事長、本部室長、エリアマネージャー等	経営及び事業の進捗状況の確認	毎週
運営委員会	経営委員に加え、オフィスリーダー等	事業所毎の経営及び事業の進捗の確認	毎月
各種委員会	各委員	テーマ毎に協議	随時
支援担当(生活支援、日中活動支援等)会議	事業所毎	利用者個々のニーズに対応するサービス体制協議	毎月

2 法人人事

(1) 役員等改選

役員等	改選理由	改選状況
理事	欠員	1名選任
評議員	欠員	1名選任

※ 理事定数の改正により、理事1名欠員。評議員1名辞職につき、1名欠員。

(2) 職員

身分	採用	退職
職員(総合職)	3人	2人
職員(業務職)	4人	2人
嘱託(一般職)	0人	1人
嘱託(業務職)	0人	1人
パート職員	10人	12人

3 事業実績

(1) 施設入所支援事業

利用率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
障害者支援施設 溪明園からまつ	88.6%	88.8%	87.0%	83.4%	86.0%
障害者支援施設 溪明園あすなろ	97.6%	89.1%	90.7%	95.0%	99.8%
障害者支援施設 花椿きらめき	99.1%	99.0%	99.0%	97.0%	97.3%
障害者支援施設 花椿あおぞら	99.8%	100.0%	99.0%	100.0%	97.8%

(2) 生活介護事業

利用率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
障害者支援施設 溪明園からまつ	88.7%	88.8%	86.9%	83.7%	85.8%
障害者支援施設 溪明園あすなろ	97.6%	90.1%	90.8%	95.1%	96.5%
多機能型事業所 溪明園めるへん	88.7%	98.7%	92.8%	92.3%	93.5%
障害者支援施設 花椿きらめき	89.2%	91.0%	90.0%	89.0%	83.7%
障害者支援施設	84.4%	94.0%	91.0%	92.0%	91.2%

花椿あおぞら					
多機能型事業所	72.0%	72.0%	82.0%	91.4%	91.4%
花椿かがやき					

(3) 就労継続支援B型事業

利用率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
多機能型事業所					
湊明園めるへん	100.1%	91.3%	89.9%	89.7%	90.6%
多機能型事業所					
花椿かがやき	99.0%	71.0%	88.0%	90.2%	90.2%

(4) 短期入所事業

延べ利用者数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
障害者支援施設					
湊明園からまつ	38人	35人	30人	194人	100人
障害者支援施設					
湊明園あすなろ	0人	109人	11人	0人	0人
障害者支援施設					
花椿きらめき	62人	156人	137人	33人	68人
障害者支援施設					
花椿あおぞら	195人	0人	67人	26人	95人
日中サービス支援型					
ホームこごみ	9人	38人	0人	0人	0人

(5) グループホーム事業

利用率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ホームやつわ	85.3%	90.4%	93.9%	90.7%	85.0%
ホーム柴田屋	96.2%	95.3%	97.6%	94.5%	94.6%
日中サービス支援型					
ホームこごみ	65.8%	91.9%	88.3%	87.3%	80.0%

(6) 放課後等デイサービス事業

利用率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
放課後等デイサービス事業所					
きつずる-むくろーバー	85.0%	105.7%	107.0%	101.0%	98.3%
放課後等デイサービス事業所					
きつずる-むくこみ	---	62.3%	102.0%	86.5%	94.0%

(7) 相談支援事業、障害児等療育支援事業

障がい特性に応じて本人のニーズに合ったサービスが利用できるよう支援を行った。また、本人の生活状況や家族状況に応じた地域の支援体制を構築するとともに、情報提供や見学・体験などを通して本人の意思決定を尊重し、地域生活を継続できるように相談支援を行った。

(8) 障害者就業・生活支援センター事業

職場実習後の就職者の数(採用数)が、令和5年度に比べると増加し、それに伴い就職件数も増加した。

職場不適応により、就業継続が困難なケースへの対応頻度が多く、職場や医療機関、特別支援学校、富山障害者職業センターなど、関係機関との連携強化を図り支援を行った。

Ⅱ 令和6年度 事業所取り組み結果

障害者支援施設 湊明園からまつ

1 実施事業

入所支援事業（40名）、生活介護事業（40名）、短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 体力維持と健康増進

利用者の高齢化により、作業時間に館内清掃やウォーキングを取り入れたり、余暇時間に施設周辺の散歩などを取り入れたりしながら、運動の機会の確保に努めた。一方、建物の構造上、階段での転倒が増加し、その状況把握に苦慮した。健康面では、歯科検診によって利用者の口腔状態を確かめ、口腔衛生への意識向上を図った。嚥下機能の低下や食事制限がある利用者には、栄養士や看護師と連携し、食事形態を見直し、個別対応に努めた。令和7年2月に施設内でインフルエンザ感染が拡大し、職員の業務負担が大きな課題となった。

2) 傾聴と意思決定支援

帰省や外出の制限を緩和し、個別外出や帰省に関して、利用者に希望を確認したうえで、行先を決める意思決定支援を行った。これにより、外出時や帰園後は心身ともに穏やかに過ごすことができた。しかし、冬季には感染症の流行により、外出等を制限せざるを得なくなり、気持ちが高ぶる不安定になる利用者も見られた。傾聴することで落ち着きを促したが、要求が強くなる場合もあり、対応に苦慮するケースもあった。引き続き、快適な暮らしを提供することを心掛け、利用者の声に耳を傾け、意思決定支援を行っていく。

3) 定員満床に向けた受け入れに取り組む

行政及び相談支援事業所より、入所に関する問い合わせが多数あった。緊急性のある短期入所希望者については迅速に対応し、入所につなげた。他の希望者についても面談を通じて短期入所を実施した。しかし、現在男性居室に空きがなく、男性の入所希望者は保留状態である。定員を満たすための改修工事を予定していたが、工事に伴う利用者の居室移動が対人関係との調整により難航し、改修工事に至らず、新規受入数が伸び悩んだ。

次年度は、新規面談および短期入所手続きの迅速化を図るとともに、利用期間を明確に設定し、職員が特性に応じた支援と環境整備に取り組むことで、受け入れ体制を整え、定員満床を目指す。

障害者支援施設 湊明園あすなろ

1 実施事業

入所支援事業（30名）、生活介護事業（30名）、短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 利用者様幸福度チェックリストを活用した、利用者本位のサービスの提供

利用者様幸福度チェックリストを活用し、意思決定支援の強化と虐待ゼロを目指して取り組んだが、ゼロ実績の達成には至らなかった。職員個々において虐待の定義や支援方法の理解に差があったことから、共通の認識を図るため、年3回の研修会を実施した。意思決定支援の重要性は徐々に浸透し、個別支援計画の原案作成や日々の行事企画において、利用者の意思や希望を丁寧に聞き取られるようになった。利用者旅行では希望を反映し、西棟・東棟毎に実施し、多くの満足した表情が見られた。幸福度調査は年2回実施し、令和5年度は79点、6年度は65点と前年度評価を下回ったが、その要因は、職員が意思表示の困難な利用

者の思いに寄り添い、利用者視点で満足度を厳しく評価したことに起因する。今後は支援の質をさらに高めるため、チームとしての連携強化に取り組む。

2) ICT 介護「眠りスキャン」を活用した利用者の健康状態の情報共有と維持向上

眠りスキャンを活用し、利用者の健康状態の把握と維持向上を図るため、専門業者によるミニ研修会を開催し、職員の積極的な質問のもと操作方法を学んだ。夜間に立ち歩きの多い、或いは発作の危険がある利用者には音声センサーを設置し、離床時に即対応できる体制を整えた。また、夜間に保護帽や歩行器を使用せず、眠気でふらつきながらトイレへ向かう利用者のケースでは、職員の迅速な対応により転倒等の事故を未然に防止できた。今後も引き続き眠りスキャンを活用し、利用者の安全と健康管理に努めていく。

多機能型事業所 湊明園めるへん

1 実施事業

生活介護事業（7名）、就労継続支援B型事業（13名）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 新たな商品開発・保存方法の改善による売り上げ増加・工賃の向上

お中元時期に、新たに焼菓子の大口注文を受け、その際に納めた新商品は、とても好評であった。秋季には、地域の様々なイベントや行事に積極的に参加し、商品の販売を行った。また、複数の学校祭において、委託販売の協力を得た。令和6年度のイベント販売数は、ほぼコロナ禍以前の水準まで回復し、地域参加のきっかけにもなった。

また、販路拡大のため、ふるさと納税サイト「さとふる」に新たに2点の返礼品を追加し、商品を冷凍化することで、長期保存を可能とした。冷凍需要が増したことに加え、生産効率の向上を図る目的で、冷凍庫を新たに購入した。クッキー生地の作り置きが可能となり、繁忙期と閑散期の作業量を平準化することができた。

2) 地域との交流

コロナ禍で一時縮小していた地域との交流を再び活性化させるため、ピースあけぼの（社会福祉法人手をつなぐとなみ野）との合同で、月1回の体操レクリエーションを実施した。

また、サポートセンターきらり主催のリズム体操やヨガ教室に継続的に参加することで、利用者の健康維持と地域社会との繋がりを促進した。地域貢献活動の一環として、5月に小矢部市主催のゴミゼロ運動に参加したり、年間を通して石動、綾子地区を中心にゴミ拾い活動をするなど、地域交流と利用者の社会参加を両立した活動を展開した。

障害者支援施設 花椿きらめき

1 実施事業

入所支援事業（30名）、生活介護事業（40名）、短期入所事業（併設型2床＋空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 各作業班での連携した作品作り

きらめきの3つの作業班が協力して、牛乳パックを使用し、紙すき作業に取り組んだ。回収した牛乳パックの切断、ラミネートはがし、紙ちぎり（紙切り）までの各工程をそれぞれの利用者が担い、職員も手伝いながら再生ハガキを作成した。

作成した再生ハガキには、利用者自らの思いを文字にしたり、文字が書けない利用者は写

真を貼ったり、絵を描いたりして、元気に活動している様子を描写した。このハガキを通して、なかなか会うことが出来ない家族に、事業所での活動や取り組み等を伝えることが出来た。

2) 利用者主体のイベント企画

開所日やきらめきの行事等では、利用者の意思を尊重し、「花椿をよくする会」で、多くの支持や意見が寄せられたイベントや内容を中心に、企画立案した。

利用者から大人気のバーベキューは、9月に実施した。十分な食材を準備し、お腹も心も満たされ、沢山の笑顔と共に盛会裏に幕を閉じた。8月には日中での花火大会を催し、それぞれが好きな線香花火を、思い思いに楽しむ様子が見られた。その他、おやつ作りやパン食い競走、ペットボトルボーリング、そり遊び、鍋祭り等、利用者の意向に基づき実施し、利用者の一喜一憂する姿が見られた。

昨年度から実施しているリトミックの他に、あおぞら事業所で行っている、リズム体操や臨床美術にも参加し、他事業所の利用者や講師との交流の機会をもつことが出来た。

3) 花椿通所の独立した事業所づくり・施設入所利用者の活動場所の確保

ゾーニングの観点から入所支援と通所支援を分けて行った。さらに通所ではコロナ感染対策として、きらめき、あおぞらの事業所ごとに利用者を配置し、障がい特性を考慮しながら活動した。

外部講師による、臨床美術やリズム体操は感染に留意しながら、きらめきとあおぞらが一緒に活動に参加した。リズム体操は音楽の好きな利用者も多く、みんなが夢中になり、活動に集中していた。臨床美術では、個性的でオリジナリティー溢れる作品に仕上げ、出来栄えに満足していた。昼食会やバスハイクでは、会話を楽しむ人、静かに車窓を楽しむ人など、それぞれの楽しみ方が見られた。

障害者支援施設 花椿あおぞら

1 実施事業

入所支援事業（30名）、生活介護事業（40名）、短期入所事業（併設型2床＋空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) コロナ禍後の新たな支援のあり方を考えていく

日中活動時、外部講師を招いて臨床美術、リズム体操を感染に配慮しながら、他事業所利用者と共に、月1回実施した。花椿祭では、午前中のステージ発表には家族も来所、観覧された。午後からの飲食は利用者のみで実施し、久しぶりに花椿での親子で過ごす時間に笑顔が見られた。一年を通して季節に合った行事や、昼食会やおやつ作り等充実した時間を過ごせる機会を提供した。

2) 安定した商品づくり

井口地域、委託生産者と連絡を密に取り、ニンニク、黒豆、梅の生育状況等を確認しながら収穫や加工作業を進めてきた。ニンニクに関しては発注のタイミングが合わず一年を通して商品を作ることができなかった。梅干は味も安定し、地元野菜市場でも高評価が得られた。黒豆作業は今までの経験が活かされ、スムーズな手順で、手際良く、利用者、職員が一丸となり作業を行えるようになった。また、規格外の豆をお菓子（ポン菓子）に加工したり、新たに健康セットとして詰め合わせたりして、委託販売や地域イベント等で職員が対面販売を

行った。

3) 花椿通所の独立した事業所づくり・施設入所利用者の活動場所の確保

ゾーニングの観点から入所支援と通所支援を分けて行った。さらに通所ではコロナ感染対策を講じながら、きらめき、あおぞら事業所内の住み分けをして、障がい特性に応じ、個室や、間仕切りを利用し環境を整えた。この整備により利用者也落ち着いて活動することができるようになった。

また、各月で外部講師を迎え、臨床美術、リズム体操を実施した。利用者も講師の来所を楽しみにしており、臨床美術では個々の個性があふれる作品を制作している。リズム体操では職員も一緒に参加し、体も心もリフレッシュできる時間になっている。また、バスハイクや昼食会なども実施した。

多機能型事業所 花椿かがやき

1 実施事業

就労継続支援 B 型事業（16 名）、生活介護事業（14 名）

2 取り組み内容と評価

1) 作業の整理、新規取り組みを行うことで生産活動収入の安定を目指す

利用者の新たな作業として、里芋農家との繋がりや、地元野菜市場の方々のアドバイスにより、洗い里芋の真空パック詰めを行った。その結果、即日完売するほどの売れ行きで、売り上げも安定している。

また、既存の 3 本柱としている作業について見直した。

内職作業については、受注量が減少傾向にあるが、それをモチベーションとしている利用者もいるため、小規模ながら継続していくこととした。

弁当製造について、営業活動に注力したことで、地域の高齢サロンや行政、地元の高校等新規受注先が増え、毎月（隔月）の定期的な発注により売り上げに結びついた。

自主製品については、新たに“とやまふおんと”と称するオリジナル雑貨製品を制作した。販売商品の種類が増えたことで、イベントでの販売機会の増加、美術館での通年販売に繋がり、継続して周知販売を行うこととした。

新しい作業や役割への挑戦や工賃向上により、利用者の意欲や主体性も高まりがみられるようになった。

2) 創作活動を通して、異業種交流の機会を設け新たな視点を取り入れる

月に一度、「いいがの日」と題して、外部講師を招聘し、生活介護事業所を中心としたアート活動を行った。製作した作品は、南砺市と砺波市 10 か所の郵便局に 1 か月単位で展示する機会を頂き、障がい者アートに対する啓発・周知活動とした。

また、イベントでのボランティア活動の参加を機に、リソグラフィート印刷関係者との出会いがあり、多人数の利用者が描いた絵や数字をもとに“かがやきオリジナルカレンダー”を製作し、販売に繋げた。

その他、障がい者アートの繋がりから所属している cotae ネットワーク（他施設、在宅障害者の保護者・本人が参加する団体）において、障がいのある人の作品を、グラフィックデザイナーとの連携により、ポストカードやアートクロスと名付けた大判のハンカチに商品化し、美術館やイベントにて販売した。

異業種交流の機会を持つことで、新たな出会いが生まれ、新たな創造を見出し、利用者の

モチベーションに繋がった。

3) 高齢利用者の QOL 維持・向上を考慮した環境整備と活動の充実

運動機能の維持・向上を目的に、月に数回、生活介護・就労継続支援 B 型それぞれの対象利用者合同で福野体育館にて軽運動を行ったり、事業所内で DVD を観ながら軽体操を行った。

高齢利用者に対しての活動・作業については無理のないように進め、適度な運動を取り入れることでメリハリのついた活動に繋がった。

また、グループホーム利用者と合同で口腔ケアについての研修を開催することにより、利用者・職員共に理解を深めることができた。

ホームやつわ、ホームあやこ、ホームいするぎ

1 実施事業

共同生活援助事業（19 名）

2 取り組み内容と評価

1) 地域交流の再開

利用者とともに地区の江湊いに参加し、清掃活動を通じてホームや利用者の認知度向上を図った。また、「ふれあいのスポーツ広場富山大会」や「小矢部市障害者スポーツ大会」など、地域内外のイベントに利用者が積極的に参加し、楽しみながら交流を深めた。さらに、防災意識の向上を目的として、小矢部市内の防災訓練に参加し、避難や応急処置の訓練を実施した。一方で、地域住民と連携したホーム独自の防災訓練は実施できなかったが、今後の実施に向けて検討を続けていきたい。

2) ホーム世話人の研修・啓発

世話人のスキル向上と意識啓発を目的に、基幹相談支援センターから講師を招き、虐待防止に関する研修を実施した。世話人会議においても虐待防止や権利擁護に関する情報を共有し、利用者の人権と安全を確保するための知識を深めた。また、利用者の高齢化への対応を強化するため、日中サービス支援型の「ホームごごみ」を見学し、グループホームの提供サービスの違いや支援内容について理解を深めた。

ホーム柴田屋、ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第 2

1 実施事業

共同生活援助事業（23 名）

2 取り組み内容と評価

1) 防災・災害予防対策の強化

1-1) 防災体制の見直し及び「予防」「準備」段階の災害対策を強化し再構築する（随時）

全居室に、利用者・職員で必要物品を確認して購入した非常持ち出し用防災リュックと入居者の避難行動要支援者情報をセットにして配備し、火災・地震・水害を想定した訓練を定期的に行うことで防災力の向上を図った。また、災害に備え適切な行動がとれるよう自立支援協議会当事者部会による防災研修に利用者 8 名が参加した。

1-2) 福祉避難所としての正常な機能保持（随時）

ホーム柴田屋の福祉避難所のあり方について行政担当者と協議し、器材の準備や発災時における要配慮者の受け入れや対応方法について確認した。

2) 高齢利用者の生活機能維持に向けた取り組みと地域との関係形成支援の実施

2-1) 専門職種と連携し、ホームで取り組める口腔ケアや運動などを導入し、高齢利用者の介護予防を推進する。(2回/年)

理学療法士による「障がいのある方でも簡単にできる介護体操」、言語聴覚士による「口腔ケア」研修会を開催し、職員、利用者が参加した。基本動作回復に向けた運動療法や口腔ケアのポイントを学び、日常生活に取り入れた。

2-2) 利用者主体でコロナ禍明けの豊かな地域生活を考える機会を提供し、支援者と実践することで利用者の活力向上を図る。(随時)

「行動制限が緩和された今だから“できること・やりたいこと”」をテーマに各ホームで座談会を行った。利用者の意見を参考に、休日に食事会やグループ外出の機会を積極的に創出し、障がいの有無等に関係なく誰もが楽しく集う「まぜこぜ富山」イベントにボランティアとして参加したり、カターレ富山の試合を観戦するなど地域行事への参加に繋がった。

3) 運営推進会議（仮称）への準備・対応

3-1) 情報収集及び準備や進め方について工程表を作成する。(2回/年)

ホーム柴田屋の地域連携推進会議の構成員選定については、地域住民の方、他関係機関に意見を求め決定した。会議の進め方については、具体的なスケジュールの作成に至らず、継続検討事項とした。

日中サービス支援型ホームこごみ

1 実施事業

共同生活援助事業（20名）、短期入所事業（2名）

2 取り組み内容と評価

1) 充実した人員の確保とチーム力向上

各ユニットに夜勤専任職員を配置し、パート職員を増員したことで、日勤職員の配置が図られ、近隣への外出を増やしたり、日帰り旅行（長野方面、氷見方面）を実現した。

職員間の情報共有の徹底を図るため、ホワイトボードを活用し1日2回の引継ぎを実施した。朝の引継ぎ時には、虐待防止の意識を高めるため「今日の心がけ」を職員一人ひとりが発表した後、業務を行うこととした。

会議体制を見直し、パート職員を含め利用者の日々の状況を確認し、チーム支援に努めた。

食事・栄養管理面では、溪明園の栄養士が兼務し、支援職員、調理員と話し合い、利用者個々の健康等状況に合わせた食事提供を心掛けた。

2) チームワークを重視し、自己研鑽をしながら、個々の専門性を高める

老人介護施設にて職員3名が高齢者介護技術研修に参加し、技術や知識の習得に努めた。また事業所内で利用者の状況に合わせた介護技術や研修・伝達のを設け、スキル向上と職員間のつながりを重視した。

職員のスキルアップを目的として、オンラインによる福祉職員の多岐分野にわたる専門講座「lean on Me 研修」を実施した。業務の合間でも効果的な学びの機会を確保することができた。

3) 日中活動の充実

月2回の言語聴覚士による集団リハビリ、個別リハビリを継続した。集団リハビリでは下肢筋力の維持・向上を目的として、小グループでボールを使用した運動を楽しみながら活動でき利用者から好評を得た。

転倒予防を目的として、浴室の床にマットを設置するなどの浴室環境を改善し、利用者がより安全に入浴できるようになった。

日帰り旅行や外出の機会を通じて、利用者が自分の希望や意見を積極的に話す機会が増えるなど、コミュニケーション面での良い変化が見られた。

月2回、多目的スペースにて季節の行事や軽運動、ゲームなど取り入れたレクリエーションを実施し、参加者同士の交流の場となっている。

外部ボランティアとして、企業相撲部やコンビニ店舗の協力による「鬼退治」などのイベントを開催した。地域とのつながりを深める貴重な機会となり、参加者の笑顔が多く見られた。

4) 防災対策の強化

職員および利用者の安全を守るため、定期的に避難訓練を実施し、非常時における迅速かつ適切な行動を確認した。

災害時における業務継続を可能にするため、BCP（事業継続計画）の備蓄品保管場所の確認と必要品の整備・見直しを実施した。また、停電時の昼食を想定した実地訓練を年間5回実施した。個々の食事形態や状況に合わせ、継続的な訓練と見直しが必要である。

放課後等デイサービス事業所きつずるーむクローバー

1 実施事業

放課後等デイサービス事業（10名）

2 取り組み内容と評価

1) 社会資源を活用したプログラム提供

子どもたちからのリクエストもあり、新たに1組の運動ボランティアがプログラムに参加した。また、外部講師によるプログラムや地域資源を活用したプログラムをいろいろな曜日に実施することで、子どもたちの活動と体験の幅が広がった。

地域交流として、地域での活動体験の機会を増やし、ひまわりの種植え・摘み取りや芋ほりの活動、地域のお店でのお仕事体験、法人内外の事業所との交流やイベント参加など、活動の充実を図った。また、外部の関係機関や法人職員から災害や感染症について学ぶ機会を設け、避難訓練、手洗いチェック、ケーキ作りなど実際の活動場面に応用することで少しずつ理解も深まり、子どもたちの言葉や行動など意識の変化も見られた。

2) サービスの質向上

多様化する利用ニーズや特性に合わせたサービスを提供するため、オンラインによる研修会への参加に加え、外部研修への参加の機会を増やした。発達障がい・強度行動障がい・ペアレントトレーニングなどの研修会に参加することで、障がい特性や支援方法について学び、スキルの向上を図った。

新規利用の子どもたちにおいては、スムーズな利用と適切な支援につながるよう、利用前に保育所等の訪問を行い、情報共有と連携を図った。また、支援学校の個別面談会に参加し、クローバーを利用する子どもたちの情報を共有することで支援につなげた。法人内事業所への見学及び作業実習では、支援の現場を体験すると共に日常業務の見直しや支援の在り方について理解を深めた。子どもたちにおやつアンケートを実施し、そのランキングを掲示することで会話も増え、思いを聞くことができた。また、アンケート結果を踏まえたメニュー構

成でおやつ作りを実施した。また、保護者との年2回の定期面談を実施すると共に、保護者向けの利用希望調査により、利用ニーズの確認と調整を行った。

3) 子どもたちの安全を守るための取り組み

チェック表を用いて毎月安全面や衛生面等の室内環境を見直した。マニュアルについては、定期的にその内容等を検討協議し、作成及び見直しを行った。また、水質適正検査の実施や専門職員より衛生管理や調理器具の取扱い等についてレクチャーを受け、安全に活動できるよう改善を図った。

自己評価表の結果をもとに、事業所の強みや弱み・改善に向けて必要な取り組みなどについて事業所内で振り返りを行い、更なる改善につながるよう検討した。

放課後等デイサービス事業所きつずるーむ ごごみ

1 実施事業

放課後等デイサービス事業（10名）

2 取り組み内容と評価

1) 支援者の資質向上に努める

基本的な支援のテクニックに関する研修や勉強会を定期的実施したり、関係機関との情報交換を図るなど、職員の専門性と対応力の向上に努めた。これらを通じて、子どもたちが安心して成長できる環境づくりへの手応えを実感した。

2) SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）を用いた支援

利用する子供たちが、日常生活における適切な言葉づかい、感情のコントロールや対応力を養うことを目的として夏休みにアンガーマネジメントを開催した。

他児童との関わりや社会的なルールを学ぶ機会を日頃の活動の中で設け、相手を気遣った生活が送れるよう支援を行った。

3) 子どもたちの安全を守るための取り組み

自然災害への備え、感染症対策等について作成した対応マニュアルを活用し、避難訓練や不審者対応訓練等を行い、子どもたちの安全をより守るためにどうすれば良いのかについて都度検討した。定期的な委員会開催により、マニュアルの修正等を行った。

障がい者サポートセンターきらり（相談系事業）

1 実施事業

障害者相談支援事業、指定一般相談支援事業、指定特定相談支援事業、障害児相談支援事業、障害児等療育支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 災害に向けた支援の実施

指定特定・障害児相談支援事業に契約締結している障がい児・者を対象に緊急時の避難先や受診先等をまとめた一覧表を作成し、非常時に備え連絡体制を整えた。また、面談時に保護者等も交え避難先の確認や準備品等を当事者に意識付けするよう努めた。

2) 質の高い支援の実施

相談支援専門員を富山県内で最も多い8名配置し、砺波市・小矢部市・南砺市の障がい児・者を中心にサービスの利用やその他相談に対応した。近年障がい児のサービス利用に関する相談が増加傾向にあり、支援学校等の教員経験のある職員を配置する等、教育・医療・

地域との連携に重点をおいて取り組んだ。

また、主任相談支援専門員を3名配置し、砺波圏域障害者基幹相談支援センターと協力し、検討会の助言や事業所訪問等、事業所内外を問わず相談支援従事者の質の向上を目的とした取り組みを行った。

富山県相談支援専門員協会に2名が役員として参加し、研修会の運営協力や地域の相談員の質の向上を目的とした取り組みに協力した。

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定により変更された内容について、講師を招き勉強会を開催した。職員への意識付けを図ると共に、取得できる加算を可能な限り取得したことにより増収に繋がった。

障がい者サポートセンターきらり（障害者就業・生活支援センター事業）

1 実施事業

障害者就業・生活支援センター事業

2 取り組み内容と評価

1) 就労アセスメントの強化

富山障害者職業センター主催の就労アセスメントの研修会に参加し、知識や技術の習得に努めた。また、砺波圏域就労系福祉サービス事業所研修会を開催し、富山障害者職業センターの職員を講師に招き、就労アセスメントの支援ノウハウについて学んだ。

2) 支援スキルの向上

困難な事例については、センター内で支援方法について協議し、支援内容の共有化を図った。また、関係機関との連携を通し、関係機関の専門的な見地からの助言を受けながら、よりよい支援について検討し対応した。

砺波圏域障害者基幹相談支援センター

1 実施事業

障害者基幹相談支援センター事業（砺波市、小矢部市、南砺市 3市委託事業）

2 取り組み内容と評価

1) 総合的・専門的な相談支援

障がい者相談支援事業として、障がい者またはその支援者等からの相談に応じるための窓口を設け、必要な援助及び専門機関の紹介を行った。また、総合的・専門的な相談支援として、障がいのある人やその家族は勿論、地域住民や関係機関からの相談先等が分からないケースも障がいの別を問わず総合的に受ける窓口を設け、一緒に課題を検討し、相談支援事業所や行政に繋いだ。

2) 地域の相談支援体制の強化

圏域内の相談支援事業所に対しては、助言及び情報交換並びに個別ケア検討会等を開催し、主任相談支援専門員に対しては、情報交換会及び相談支援事業所訪問を計画するなど、地域全体の支援力向上を目指すと共に、地域の福祉や医療・教育・就労等の関係機関との連携を図った。

また、地域の社会資源に関する情報として、障害福祉サービス事業所ガイド、障害福祉サービス事業所一覧、サービス事業所紹介動画、サービス事業所マップ等を作成し公開すると共に、相談支援事業所や行政に入居施設等空き情報、サービス利用者募集等の情報を案内し、

障がい福祉サービスの利用促進に努めた。

3) 地域移行・地域定着の促進

病院や施設等から地域生活への移行を促し、地域での生活を定着させるための業務を行った。また、施設や病院から退所・退院し、地域での暮らしを希望する人の相談に応じ、地域で安心して暮らせるよう精神科病院との情報交換会を開催した。

4) 権利擁護・虐待防止に関する啓発

障がいのある人やその家族からの権利侵害（虐待等）に関する相談に応じ、成年後見制度や日常生活自立支援事業等の利用を促進すると共に、普及啓発のための業務を行った。また、令和4年度より全てのサービス事業所において、従事者への障がい者虐待防止の研修が義務化されたことから、権利擁護・虐待防止委員会と連携して研修会を開催し、小規模な事業所の負担軽減と研修の促進を図った。

5) 自立支援協議会への参加協力

砺波地域障害者自立支援協議会の運営に協力するとともに、会議等へ参加した。令和3年度から運営会議の庶務、事業所連絡会の運営、権利擁護・虐待防止委員会の庶務等を担当し、令和6年度も同様に担った。また、当センターのホームページに本会議の資料や議事録、部会等の作成物等を掲載し、協議会の情報公開に努めた。

6) 砺波圏域地域生活支援拠点等の整備への協力

砺波圏域における地域生活支援拠点等の整備に向けて、認定申請の事前協議やヒヤリング及び整備運営に関するガイドラインの改訂に協力した。

7) その他の事業

基幹相談支援センター利用促進のため、機会を捉えてセンター事業を説明した。また、各種機関への協力として、協議会理事、研修ファシリテーター等を引き受けた。

Ⅲ 令和6年度 地域との関わり、貢献等

事業所	内容	参加者		実施数
		利用者	職員	
法人本部	小矢部市内社会福祉法人協同によるフードバンク	---	1名	1回
湊明園めるへん	地域のゴミ拾い活動	6～7名	2名	5回
花椿きらめき	地域のアルミ缶回収	8～9名	1名	週3回
花椿かがやき	南砺市社会福祉協議会ドリンクサービス	5名	1名	3回
	地域のゴミ拾い活動	3～4名	1名	月1回
	縁の木の展示活動	10名	1名	3回
	使用済み切手回収、選別	2名	1名	通年
	赤い羽根共同募金街頭募金活動	15名	4名	1回
	SDG'sへの取組(エコバック制作、寄付型自販機設置)	---	---	通年
	地域児童クラブ活動支援、交流	延8名	延4名	2回
きつずるーむクローバー	フードバンクとやまと連携した食品ロス削減活動	---	---	月4回
	地域体育館清掃	---	延4名	2回

IV 令和6年度 委員会等報告

	取組内容	成果	次年度へ提言
溪明園再整備準備室	溪明園再整備準備室は、平地に用地を取得し、移転を行う再整備計画を決定した。 用地費及び建築費の縮小を図る複層階の施設計画、多機能型拠点の必要性、支援対象者とサービス内容の整理、過疎化対策を含む跡地の活用策の検討を進めた。 移転に関して、地元の南谷地区振興会の合意が得られるよう行政から意見集約の指示を受けた。①移転の影響や移転後の場所の活用、②溪明会との協働や地域での活用に関する意見と提案、③溪明園への要望等について意見を得た。	移転先用地等の費用を負担願う小矢部市の理解と合意が不可欠である。そのため、用地費と建築経費の縮小を図るため、複層階施設の計画を検討した。 支援対象者とサービス内容の再整理は、市町村障害福祉計画等に基づき、強度行動障がい者の受け入れを強化していく方針を掲げた。 溪明園の移転に関する南谷地区振興会の意見を 11 月 12 日付で得られ、①移転はやむを得ないと思われること、②移転後は地元で活用は難しいため、更地にして欲しいこと、③移転後も、雇用を継続して配慮して欲しいこと、④園との交流がなくなり、残念に思う住民がいることの4点の回答があった。	小矢部市との協議を進めるために、複層階施設計画案と用地案等を取りまとめて、小矢部市との協議を進める。 また、市が溪明園に求めるサービスについて検討し、方針が決定次第、法人経営計画に反映させる。
DX/BPR推進委員会	・スキルアップ研修の開催 ・DX/BPR の取り組み（取扱説明書やマニュアル類の電子書籍化、エルダー制度の研究） ・提案制度の構築	〔スキルアップ研修〕 法人職員が講師を務め、職員の PC スキル向上を目指して開催した。同研修では情報リテラシーについても学ぶ機会となった。 〔DX/BPR の取り組み〕 DX としては、取扱説明書やマニュアル類を電子書籍化し、紙の無駄や保管スペースの無駄を解消した。また BPR としては、エルダー制度について研究した。 〔提案制度の構築〕 各事業所において職員の意見を募り、実現に向けた仕組みを構築した。報告様式を整備し、委員会において各事業所の進捗や動向を把握した。	・各事業所が主体的に DX/BPR を推進し、委員会はそのサポートを担う。 ・職員の提案による業務の効率化を積極的に推進するために周知を図ると共に定期的に評価する。
BCP策定委員会	・花椿においてBCPの概要研修を実施 ・感染BCPの見直し ・感染対策指針の見直し ・各事業所のBCP研修の取り込み状況の共有	・感染BCPにおいて、コロナに特化したものとなっていたが、全ての感染症に対応できる形に変更した。 ・感染対策指針をより詳細なものに修正した。 ・各事業所のBCP研修の取り組みが共有フォルダで閲覧できるようにした。	・BCP研修の企画、提案を行うなど事業所と連携して取り組む。 ・BCPの内容を見返し、必要に応じ、随時更新を行う。 （・各事業所の非常時設備や備蓄品の消費期限や数量などの一覧表を作成し全職員が把握できるようにする）。
虐待防止委員会	運営委員会終了後に 5 回の虐待防止委員会を開催し、各事業所権利擁護委員会からの報告、虐待や不適切支援の事例の共有、身体拘束の考え方、などを中心に話し合い	虐待事例や虐待防止への取り組みなどを共有し、検証、考察することで、各事業所における虐待防止ゼロに向けての取り組みの見直しや改善が図られた。また、日ごろの支援の振り返りや積極的な虐待研修の開催及び参加につなが	継続的に虐待防止委員会を開催し、虐待事例や検討事例があった際には共有を図る。 各事業所の権利擁護委員会からの提

	が行われた。また、虐待事例を通しての意識や取り組みの変化などを共有した。	り理解が深まった。	案や取り組み内容等を共有し、計画的に全ての職員への研修を実施することで虐待防止ゼロ及び人権の尊重を目指す。
手をつなぐとなみ野・ 溪明会連携協力会議	研修部会：利用者を対象とした口腔ケア研修会を協同開催。 地域連携部会：利用者の作品展示を通して、地域への障がい者理解啓発、両法人の連携を深める。	研修部会：歯科衛生士を講師に迎え、口腔ケアの重要性及びその実践について、利用者、職員が学んだ。利用者が継続的に実践するには、障がいの特性上課題が残った。 地域連携部会：北陸銀行ロビー展が定着化し、鑑賞者からは、励ましや、温かい言葉が寄せられた。	研修部会：口腔ケアの継続や、両法人の人材交流なども部会で検討する。 地域連携部会：北陸銀行ロビー展については、令和7年度も同行に依頼し、承諾を得ている。

令和 6 年度
事業報告書 統計資料

社会福祉法人 溪明会

Ⅲ 令和6年度 溪明会 事業報告 統計等資料

法人本部

1 役員構成

名称、定員	氏名
理事 6～8名	宮西聡(理事長)、土山美由紀(常務理事)、中嶋明広(常務理事)、中山繁實、柳田由紀、福井靖人、村西更新、宮嶋潔
監事 2名	前川達夫、布目剛
評議員 7～9名	榊悟常、清澤百合子、山本真由美、尾崎順子、前田幸雄、梶井美恵子、高藤孝一、辻信明、山本むつ子
評議員選任・解任委員 3名	前川達夫、福田秋美、長岡由洋
第三者委員 3名	水牧美耶子、渡邊美和子、原野敬司
顧問 若干名	穴田清、高嶋義則

(順不同)

2 役員会開催状況

1) 理事会

開催	議決事項	
第1回 6月11日	報告第1号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号	運営規程の制定について 運営規程の一部改正について 社会福祉法人 溪明会 理事候補者の推薦について 社会福祉法人 溪明会 評議員候補者の推薦について 令和5年度 社会福祉法人 溪明会 事業報告について 令和5年度 社会福祉法人 溪明会 計算書類の認定について 令和6年度 社会福祉法人 溪明会 第1回評議員会の開催について
第2回 3月25日	報告第2号 報告第3号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 報告	運営規程の一部改正について 利用者工賃及び本人支給金の適正運用について 職員処遇に関する見直しについて 内部通報制度の整備について 役員等賠償責任保険の加入及び法人の保険料負担について 令和7年度 社会福祉法人 溪明会 資金運用計画について 令和7年度 社会福祉法人 溪明会 事業計画について 令和7年度 社会福祉法人 溪明会 当初予算について 第三者委員の委嘱について(苦情解決) 理事長執務状況報告

決議同意

通知11月8日、決議11月22日	社会福祉法人溪明会 定款の一部改正について
通知1月17日、決議1月30日	令和6年度第一次補正予算について

2) 評議員会

開催	議決事項	
第1回 6月25日	議案第1号 議案第2号 議案第3号	令和5年度 社会福祉法人 溪明会 事業報告について 令和5年度 社会福祉法人 溪明会 計算書類の認定について 社会福祉法人 溪明会 理事の選任について

決議同意

通知11月29日、決議12月13日	社会福祉法人溪明会 定款の一部改正について
-------------------	-----------------------

3) 監事監査、評議員選任・解任委員会

開催	内容
監事監査 6月6日	令和5年度 事業及び会計監査
評議員選任・解任委員会 6月11日	社会福祉法人 溪明会 評議員の選任について

4) その他委員会、会議

開催	内容
経営委員会	事業報告、連絡調整

	業務方針の決定 その他
運営委員会	事業報告、連絡調整 業務方針の伝達 その他
職員採用試験/判定会議	試験結果による採否検討
資金運用委員会	効率的な資金運用方法の協議 資金運用計画の策定 有効な投資商品の選定 投資商品の購入、売却

3 職員配置状況

年度末雇用形態別職員配置状況

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総計	(186)	(192)	(197)	(195)	(191)
職員(総合職)	---	---	---	(66)	(65)
職員(業務職)	---	---	---	(29)	(31)
職員	(64)	(68)	(68)	---	---
嘱託(一般職)	---	---	---	(7)	(8)
嘱託(業務職)	---	---	---	(8)	(6)
嘱託	(9)	(7)	(8)	---	---
臨時	(33)	(32)	(36)	---	---
パート	(72)	(78)	(79)	(79)	(78)
他	(8)	(7)	(6)	(6)	(3)

・令和5年度から職員の身分制度を見直し、有期雇用契約であった臨時職員を職員(業務職)に変更した。これにより定年まで雇用が保証され、安定して働くことができるようになった。60歳を超える常勤職員は嘱託職員(一般職、業務職)とした。

4 収支、財務状況他

(単位：千円)

1) 事業活動収支

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6/R5比
障害福祉サービス収益	891,607	995,280	1,044,644	1,070,014	1,122,292	+4.9%
その他	66,690	58,693	61,066	63,589	65,128	+2.4%
サービス活動収益計①	958,297	1,053,973	1,105,710	1,133,603	1,187,420	+4.7%
人件費	620,639	675,145	695,792	704,788	733,245	+4.0%
事務費、事業費	280,783	259,925	265,873	274,931	283,197	+3.0%
その他	56,409	71,471	79,546	91,700	94,069	+2.6%
サービス活動費用計②	957,831	1,006,541	1,041,211	1,071,419	1,110,511	+3.6%
サービス活動増減差額③=①-②	466	47,432	64,499	62,184	76,909	+23.7%
その他増減差額④	6,200	-494	3,382	15,907	3,947	-75.2%
当期活動増減差額⑤=③+④	6,666	46,938	67,881	78,091	80,856	+3.5%

・障害福祉サービスは新たな加算の取得、処遇改善加算により全体として収入が増加した。一方で一部の事業所では利用率の低下による影響がある。
・人件費は手当の見直しなどで職員処遇の改善を行ったが、欠員へのタイムリーな補充が難しかったことや必要な職員数を確保できなかったこともあり、前年比小幅な増に留まった。
・事務費、事業費は諸物価高騰の影響で、給食費、光熱費、燃料費の上昇、修繕費用の増加により全体として増となっている。
・収支状況は当期活動増減差額が約80百万円であり、安定した経営状況であった。

2) 障害福祉サービス等事業費収入

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6/R5比
障害者支援施設 溪明園からまつ	141,379	140,564	153,656	158,056	153,234	-3.1%
障害者支援施設 溪明園あすなろ	158,657	147,886	154,277	167,595	196,857	+17.5%
障害者支援施設 花椿きらめき	151,083	160,026	163,991	159,321	150,283	-5.7%
障害者支援施設 花椿あおぞら	164,227	184,120	188,126	194,388	210,625	+8.4%
多機能型事業所 溪明園めるへん	40,117	41,444	40,166	42,017	46,316	+10.2%
多機能型事業所 花椿かがやき	45,070	42,316	50,446	57,381	59,905	+4.4%
ホームやつわ	40,885	44,217	45,862	47,257	45,079	-4.6%
ホーム柴田屋	56,497	58,678	60,908	61,659	60,805	-1.4%
日中サービス支援型ホームこごみ	33,209	92,672	93,725	93,728	88,472	-5.6%

放課後等デイサービス事業所 きつずる一むクローバー	17,913	25,344	25,792	23,945	23,721	-0.9%
放課後等デイサービス事業所 きつずる一むこごみ	--	13,424	24,588	19,344	23,228	+20.1%
障がい者サポートセンターきらり	42,570	44,589	43,107	45,323	58,341	+28.7%
計	891,607	995,280	1,044,644	1,070,014	1,116,866	+4.4%

・全体では前年度比4.4%増となった。

・溪明園からまつは利用率が前年比増となったが、重度障害者支援加算要件外となり、前年度比減収となった。溪明園あすなろは利用率の増、及び加算等も増額となったことにより増収となった。また溪明園からまつは定員に余地があるが、問い合わせはほぼ男性の利用希望者で、建物の構造上その対応ができない状況にある。

・花椿きらめきは利用率が前年並みであったが、重度障害者支援加算要件外となり、前年度比減収となった。花椿あおぞらは加算等が増額となったことにより増収となった。

・溪明園めるへん、花椿かがやき、障がい者サポートセンターきらりは障害福祉サービスの報酬のプラス改定により、増収となった。

3) 積立金

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6/R5比
人件費積立金	100,400	100,400	100,400	100,400	100,400	--
修繕費積立金	229,209	229,209	229,209	229,209	229,209	--
備品等購入積立金	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	--
建設積立金	365,729	366,291	269,832	273,708	202,274	-26.1%
工賃変動積立金	922	849	999	999	1,162	--
設備等整備積立金	3,771	3,102	4,339	4,578	5,279	+15.3%
積立金計	720,131	719,951	624,879	628,994	558,425	-11.2%

4) 整備事業、修繕等(1,000千円以上)

内容	事業所	金額
フェンス更新(能登半島地震影響)	ホームあやこ	2,255 千円
LAN配線更新	花椿	1,529 千円
トイレ改修工事	溪明園あすなろ	1,905 千円
花椿省エネ改修工事	花椿	302,621 千円

障害者支援施設 溪明園からまつ、障害者支援施設 溪明園あすなろ

1 職員研修

(単位：回)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外部研修	22	26	23
内部研修	6	10	9
自己啓発研修	0	2	0

2 来園者

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見学	0団体(個人)	0団体(個人)6名	5団体(個人) 42名
ボランティア	2団体(個人)、21名	4団体(個人)、5名	4団体(個人)、10名
実習生			
大学	0人	1人	0人
短期大学	6人	3人	3人
専門学校	0人	0人	0人
高校	0人	0人	0人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
溪明園からまつ												
施設入所	40	2/3	35	34.9	40	3/5	33	33.4	40	4/1	36	34.4
生活介護	40	2/3	35	34.8	40	3/5	33	33.5	40	4/1	36	34.5
溪明園あすなろ												
施設入所	30	2/1	29	27.3	30	3/2	30	28.5	30	0	30	30
生活介護	30	2/2	29	27.2	30	3/2	30	28.5	30	0	30	29

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度					令和5年度					令和6年度				
	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B				A	B				A	B			
溪明園からまつ															
施設入所	18	16	1	3	--	18	14	1	3	--	19	16	4	2	--
生活介護	18	16	1	3	4.1	18	14	1	3	4.3	19	16	4	2	4.4
溪明園あすなろ															
施設入所	26	3	0	4	--	25	5	0	5	--	27	3	0	4	--
生活介護	26	3	0	4	5.2	25	5	0	5	5.2	27	3	0	4	5.3

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
溪明園からまつ												
施設入所	7	8	4	16	7	6	4	16	6	9	4	17
生活介護	7	8	4	16	7	6	4	16	6	9	4	17
溪明園あすなろ												
施設入所	7	7	4	11	7	7	5	11	7	7	5	11
生活介護	7	7	4	11	7	7	5	11	7	7	5	11

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位: 人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)
溪明園からまつ												
施設入所計	0	23	12	56.4	0	25	8	53.1	0	27	9	52.8
(男)	(0)	(15)	(7)	(56)	(0)	(17)	(5)	(54)	(0)	(19)	(6)	(52)
(女)	(0)	(8)	(5)	(58)	(0)	(8)	(3)	(52)	(0)	(8)	(3)	(53)
生活介護	0	23	12	56.4	0	25	8	53.1	0	27	9	52.8
(男)	(0)	(15)	(7)	(56)	(0)	(17)	(5)	(54)	(0)	(19)	(6)	(52)
(女)	(0)	(8)	(5)	(58)	(0)	(6)	(3)	(52)	(0)	(8)	(3)	(53)
溪明園あすなろ												
施設入所計	0	25	4	48.7	0	24	6	52.4	0	23	7	53.4
(男)	(0)	(15)	(1)	(46)	(0)	(15)	(1)	(47)	(0)	(14)	(2)	(48)
(女)	(0)	(10)	(3)	(53)	(0)	(9)	(5)	(59)	(0)	(9)	(5)	(60)
生活介護	0	25	4	48.7	0	24	6	52.4	0	23	7	53.4
(男)	(0)	(15)	(1)	(46)	(0)	(15)	(1)	(47)	(0)	(14)	(2)	(48)
(女)	(0)	(10)	(3)	(53)	(0)	(9)	(5)	(59)	(0)	(9)	(5)	(60)

5) 短期入所及び日中一時支援事業利用延べ数

(単位: 人)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
溪明園からまつ				
	短期入所	30	194	100
	日中一時	0	0	0
溪明園あすなろ				
	短期入所	11	0	0
	日中一時	0	0	0

4 行事・余暇支援等の実施状況

1) 主だった行事等の状況

活動内容	外出先
利用者旅行	牧歌の里(岐阜県)、越前松島水族館(福井県)、福井恐竜博物館(福井市)、マリナッチ(氷見市)
保護者会旅行	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止
夏祭り(コロナ禍につき代替行事)	各事業所でイベントを用意して実施
ふれあい育成スポーツ大会	福野体育館で実施
溪明園祭(コロナ禍につき代替行事)	各事業所でイベントを用意して実施
餅つき大会	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止
そば会食	各事業所の食堂で実施(利賀そばの会振る舞い)
厄払い	埴生八幡宮(小矢部市)

その他 定例行事等

面会日	月1回第2日曜日の面会日はコロナ感染防止の為に中止。 代替として、11/26保護者来園日を開催
家庭交流日	月1回の家庭交流日はコロナ感染防止の為に中止

2) 余暇支援等の状況

余暇支援プログラム	開催状況	備考
音楽療法	年5回	あすなろ東棟/作業室。
臨床美術	月1回程度	
自由画	随時	
茶道クラブ	月1回	

5 日中活動の状況について
班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
溪明園からまつ					
リサイクル班	15	リサイクル作業	アルミ缶潰し、花壇整備、和室・会議室周辺の清掃	—	小矢部市内等回収
軽運動班	18	軽運動・創作活動	ウォーキング、体操、ぬり絵、貼り絵、作品作り	—	—
洗濯班	3	洗濯作業	洗濯に関する一連の作業	—	—
溪明園あすなろ					
リサイクル班	6	リサイクル作業	空缶潰し(アルミ、スチール)	—	小矢部市内等回収
	10	リサイクル作業、ウォーキング、個別活動他	空缶潰し(アルミ、スチール)、ウォーキング、軽運動、作品作り 他	—	小矢部市内等回収
ひだまり班	9	個別活動、軽運動	介護予防体操(軽体操)、レクリエーション、ぬり絵、貼り絵 他	—	—
ウォーキング班	5	ウォーキング、装飾活動、個別活動	ウォーキング、軽運動、装飾活動 他	—	—

6 保健・給食関連状況

1) 健診等実施状況

嘱託医(精神科・内科) 定期健診の他 健康診断、インフルエンザ予防接種
肺炎球菌ワクチン(対象者に限定)、節目年齢歯科健診

2) 給食関連状況

対応食

(単位: 人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	糖尿病	高血圧	肝臓病	常時粥	糖尿病	高血圧	肝臓病	常時粥	糖尿病	高血圧	肝臓病	常時粥
溪明園からまつ	1	0	0	3	1	0	0	5	1	3	0	3
溪明園あすなろ	0	0	0	2	0	0	0	5	0	2	0	4

		令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		とろみ	きざみ	魚骨 抜き	とろみ	きざみ	魚骨 抜き	とろみ	きざみ	魚骨 抜き
溪明園からまつ										
	施設入所	1	8	全食	1	10	全食	1	9	全食
	生活介護	1	8	全食	1	10	全食	1	9	全食
溪明園あすなろ										
	施設入所	0	5	全食	3	11	全食	1	10	全食
	生活介護	0	5	全食	3	11	全食	1	10	全食

7 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練 2 回 土砂災害避難訓練 0 回
不審者対応訓練 0 回

多機能型事業所 溪明園めるへん

1 職員研修

(単位：回)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外部研修	13	15	15
内部研修	3	4	4
自己啓発研修	0	0	0

2 来園者

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見学	4団体(個人)	4団体(個人)	10団体(個人)
ボランティア	0団体(個人)	1団体(個人)	1団体(個人)
実習生			
大学	1人	0人	0人
短期大学	0人	0人	0人
専門学校	0人	0人	0人
高校	2人	2人	2人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
生活介護	7	0/0	9	6.5	7	0/0	9	6.8	7	0/0	9	6.5
就労継続支援B型	13	1/0	13	11.8	13	0/1	12	12.2	13	0/0	12	11.8

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度					令和5年度					令和6年度				
	療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳	平均障害支援区分	療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳	平均障害支援区分	療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳	平均障害支援区分
	A	B				A	B				A	B			
生活介護	7	2	0	3	4.6	7	2	0	3	4.6	7	2	0	3	4.6
就労継続支援B型	3	10	0	1	—	5	7	0	1	—	5	7	0	1	—

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
生活介護	0	5	3	1	0	5	3	1	0	5	3	1
就労継続支援B型	2	5	5	1	2	5	4	1	2	5	4	1

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)
生活介護 計	0	7	2	46	0	7	2	47	0	7	2	48
(男)	(0)	(4)	(2)	(52)	(0)	(4)	(2)	(53)	(0)	(4)	(2)	(54)
(女)	(0)	(3)	(0)	(35)	(0)	(3)	(0)	(36)	(0)	(3)	(0)	(37)
就労継続支援B型 計	1	9	3	47	1	8	3	47	1	8	3	48
(男)	(0)	(6)	(0)	(41)	(0)	(5)	(0)	(41)	(0)	(5)	(0)	(42)
(女)	(1)	(3)	(3)	(52)	(1)	(3)	(3)	(52)	(1)	(3)	(3)	(53)

5) 日中一時支援事業利用延べ数

(単位：人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数	50	60	104

4 行事・余暇支援等の実施状況

主だった行事等の状況

活動内容	外出先
ごみゼロ運動	小矢部市内
小矢部市障害者スポーツ大会	クロスランドおやべ
利用者旅行1	氷見温泉郷
利用者旅行2	手取フィッシュランド
利用者旅行3	のとじま水族館
利用者旅行4	金沢市街
小矢部市障害者団体防災訓練	クロスランドおやべ

その他 定例行事等

開所日	9回
リズム体操教室	5回
ヨガ教室	9回
綾子地区ゴミ拾い活動	5回

5 日中活動の状況について

班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
生活介護	9	装飾品・貼り絵・ビーズ	地域清掃（ゴミ拾い）ウォーキング・おやつ作り・装飾品・ビーズ等作成 個別活動（刺子、学習等）	—	—
就労継続支援B型	12	クッキー・パン・焼菓子他 ボール洗浄、清掃	パン・焼菓子等製造、同店舗及び外部販売、ボール洗浄、清掃業務	店舗、小矢部、砺波、南砺各事業所 各種イベント 道の駅小矢部、小矢部土木事務所、石動駅	店舗販売、イベント販売（直販・委託・移動）、道の駅、旬菜市場ふくの里

6 保健関連状況

健診等実施状況

健康診断、インフルエンザ予防接種実施

7 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況 火災避難訓練 2回 消火訓練 1回

障害者支援施設 花椿きらめき、障害者支援施設 花椿あおぞら

1 職員研修

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外部研修	31回	21回	34回
内部研修	7回	11回	19回
自己啓発研修	0回	0回	0回

2 来園者

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見学	0団体(個人)、10個人	2団体(個人)、6個人	2個人、16個人
ボランティア	1団体	1団体	1団体
実習生			
大学	0人	0人	2人
短期大学	2人	1人	3人
専門学校	0人	1人	0人
高校	5人	4人	2人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
花椿きらめき												
施設入所	30	2/2	30	29.1	30	2/2	29	29.1	30	1/1	29	29.4
生活介護	40	4/3	39	35.7	40	2/2	38	35.2	40	1/4	35	33.3
花椿あおぞら												
施設入所	30	2/2	30	29.6	30	1/1	30	29.7	30	0/1	29	29.4
生活介護	40	3/4	38	36.2	40	2/1	39	36.3	30	4/1	42	36.5

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度					令和5年度					令和6年度				
	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B				A	B				A	B			
花椿きらめき															
施設入所	24	5	1	3	--	24	4	1	3	--	24	4	1	2	--
生活介護	31	7	1	4	4.7	30	7	1	4	4.7	28	6	1	3	4.7
花椿あおぞら															
施設入所	28	1	1	3	--	27	2	1	3	--	27	1	1	3	--
生活介護	34	3	1	3	5	35	3	1	3	5.5	35	5	1	3	5.2

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
花椿きらめき												
施設入所	7	4	8	11	7	3	8	11	6	3	8	12
生活介護	9	4	15	11	9	3	15	11	8	3	12	12
花椿あおぞら												
施設入所	8	1	14	7	9	1	14	6	9	1	13	6
生活介護	11	2	19	7	12	3	18	6	13	3	19	7

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位: 人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)
花椿きらめき												
施設入所計	0	25	5	47	1	26	2	43	1	27	1	43
(男)	(0)	(25)	(5)	(47)	(1)	(26)	(2)	(43)	(1)	(27)	(1)	(43)
(女)	(0)	(0)	(0)	--	(0)	(0)	(0)	--	(0)	(0)	(0)	--
生活介護	0	34	5	43	1	35	2	42	1	33	1	42
(男)	(0)	(32)	(5)	(43)	(1)	(33)	(2)	(41)	(1)	(32)	(1)	(42)
(女)	(0)	(2)	(0)	(43)	(0)	(2)	(0)	(44)	(0)	(1)	(0)	(45)
花椿あおぞら												
施設入所計	1	26	3	43	2	25	3	42	1	25	3	29
(男)	(1)	(14)	(0)	(37)	(2)	(13)	(0)	(36)	(1)	(14)	(0)	(37)
(女)	(0)	(12)	(3)	(48)	(0)	(12)	(3)	(49)	(0)	(11)	(3)	(50)
生活介護	1	34	3	40	2	34	3	40	3	36	3	42
(男)	(1)	(19)	(0)	(35)	(2)	(18)	(0)	(34)	(2)	(19)	(0)	(35)
(女)	(0)	(15)	(3)	(46)	(0)	(16)	(3)	(56)	(1)	(17)	(3)	(45)

5) 短期入所及び日中一時支援事業利用延べ数

(単位: 人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
花椿きらめき				
	短期入所	137	33	68
	日中一時	93	4	13
花椿あおぞら				
	短期入所	67	26	95
	日中一時	200	221	195

4 行事・余暇支援等の実施状況

1) 主だった行事等の状況

活動内容	外出先
井口保育所さつまいも苗植え	花椿畑
井口保育所さつまいも収穫	花椿畑
井口保育所生活発表会	井口保育所
井口保育所お茶会	花椿あおぞら事業所にて
花椿祭	花椿体育館にて利用者、保護者参加
福野歳の大市	利用者、職員参加

その他 定例行事等

来所日	無し(原則月1回保護者会役員との情報交換開催)
開所日	月1～3回程度

2) 余暇支援等の状況

余暇支援プログラム	開催状況	備考
臨床美術	月1回	
軽運動	月1回	
鳴子deダンス	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
エアロビクス	年1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
花椿カフェ	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
セラピードック	年1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
理美容	適宜	
外出(買物・入浴・飲食等)	適宜	
リトミック	月1回	

5 日中活動の状況について
班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
障害者支援施設 花椿きらめき					
環境整備	12	アルミ缶 個別活動による作品（牛乳パック再生紙のハガキ等）	資源回収、清掃、運動、散歩、レク体操、バスハイク、お茶会、おやつ作り、ボッチャ、ペーガール等	林商店 ハリタ金 属	重度・中軽度 利用者
資源再生	8	アルミ缶 個別活動による作品（牛乳パック再生紙のハガキ、折り紙等）	アルミ缶プレス、清掃、運動、散歩、レク体操、バスハイク、お茶会、おやつ作り、ボッチャ、ペーガール、畑作業等	—	重度自閉症・ 行動障害利用 者
芸術	9	個別活動による作品（牛乳パック再生紙のハガキ、貼り絵等）	個別活動（編み物、塗り絵、パズル、音楽鑑賞、DVD鑑賞等）、レク体操・散歩、ボッチャ、ペーガール	—	高齢利用者・ 中軽度自閉症 利用者
通所	6	個別活動による作品（貼り絵、壁装飾等）	軽運動、畑作業、ほっとあつとなんと体操、刺し子、装飾品作り、貼り絵、レク体操、バスハイク、お茶会、おやつ作りなど	—	高齢利用者・ 重度・中軽度 自閉症利用者
障害者支援施設 花椿あおぞら					
みどり	14	黒豆・黒にんにく 乾燥にんにく・漬物 加工品	黒豆生産・加工・販売 にんにく加工、販売	ふくの里 委託販売	重度・中軽度 利用者（行動 障害利用者）
		個別活動による作品（貼り絵、壁飾り等）	洗濯たたみ、環境美化 散歩、創作活動、貼り絵 体操、バスハイク、お茶会 おやつ作り、自立課題	職員販売 イベント 販売	
はな	15	個別活動・散歩・ポチ袋 新聞紙袋製作・原木しい たけ栽培、にんにく、黒 豆作業手伝い	環境美化、散歩 バスハイク、体力作り 自立課題、おやつ作り等	—	重度・中軽度 利用者（行動 障害・自閉症 利用者）
通所	13	個別活動による作品（貼り絵、壁装飾等）	刺し子、装飾品作り、貼り絵、散歩、レク体操、バスハイク、お茶会、おやつ作り等、自立課題	—	重度・中軽度 利用者（行動 障害利用者）

6 保健・給食関連状況

1) 健診等実施状況

嘱託医内科、精神科定期健診（各1回/月）、理学療法士（4回/年）、歯科訪問診療（1回/月）の他、健康診断、インフルエンザ予防接種を実施

2) 給食関連状況

対応食

（単位：人）

	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	とろみ	きざみ	魚骨 抜き	とろみ	きざみ	魚骨 抜き	とろみ	きざみ	魚骨 抜き
花椿きらめき									
施設入所	1	7	--	1	5	--	1	5	--
生活介護	1	7	--	1	5	--	1	5	--
花椿あおぞら									
施設入所	3	11	--	5	13	--	5	13	--
生活介護	3	11	--	5	13	--	5	13	--

7 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練 2 回 水害避難訓練 1 回

多機能型事業所 花椿かがやき

1 職員研修

(単位：回)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外部研修	11	22	12
内部研修	5	7	8
自己啓発研修	0	0	0

2 来園者

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見学	8団体(個人)	3団体(個人)	3団体(個人)
ボランティア	0団体(個人)	0団体(個人)	0団体(個人)
実習生			
大学	2人	0人	0人
短期大学	2人	3人	2人
専門学校	0人	0人	0人
高校	0人	3人	3人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
生活介護	14	1/0	13	11.5	14	0/0	14	12.8	14	1/0	15	13.9
就労継続支援B型	17	4/0	18	15	17	0/0	18	16.3	16	1/2	17	15.3

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度					令和5年度					令和6年度				
	療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳	平均障害支援区分	療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳	平均障害支援区分	療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳	平均障害支援区分
	A	B				A	B				A	B			
生活介護	7	5	1	1	3.8	7	5	1	1	3.9	10	5	1	1	3.2
就労継続支援B型	2	15	1	1	—	2	15	1	1	—	3	13	2	1	—

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
生活介護	2	1	10	0	2	1	11	0	3	1	11	0
就労継続支援B型	7	2	9	0	6	2	10	0	6	3	8	0

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)
生活介護 計	0	12	1	38	2	9	1	36.7	0	14	1	38.6
(男)	(0)	(6)	(1)	(38)	(1)	(4)	(1)	(48)	(0)	(7)	(1)	(47)
(女)	(0)	(6)	(0)	(38)	(1)	(5)	(0)	(38)	(0)	(7)	(0)	(39)
就労継続支援B型 計	1	12	5	48	0	13	5	48.1	1	12	4	47.3
(男)	(1)	(8)	(5)	(51)	(0)	(9)	(5)	(52)	(0)	(9)	(4)	(52)
(女)	(0)	(4)	(0)	(35)	(0)	(4)	(0)	(35)	(1)	(3)	(0)	(33)

5) 日中一時支援事業他利用延べ数

(単位：人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
日中一時支援	285	302	477

4 行事・余暇支援等の実施状況

主だった行事等の状況

活動内容	外出先
八塚地区児童クラブとの交流会	八塚公民館
利用者旅行(10月)	石川方面/トレインパーク白山、道の駅白山
縁の木ボランティア、古切手収集	南砺市社会福祉協議会井波支所
開所日(各月1～2回)	かがやき事業所/南砺市内
ばーと◎とやま主催:cotaeネットワーク(商品開発/販売)	富山障害者芸術活動普及支援センターばーど@とやま/高岡市美術館
ポプアート展(8月～3月)	南砺市・砺波市の各郵便局
かがやき夏フェスティバル(8月)	かがやき事業所
かがやき秋フェスティバル(10月)	かがやき事業所
くるみさんの体操	かがやき事業所
ふれあい育成スポーツ大会(11月)	福野体育館
生活介護外出(4月/9月)	イオン高岡/北日本新聞社(富山市)
就B外出(12月)	富山県総合デザインセンター・能作(高岡市)

その他 定例行事等

ヨガ教室	月1回
リズム体操	月1回
いいがの日	月1回
工賃支給スペシャルおやつデイ	月1回

5 日中活動の状況について

班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
生活介護	14	布製品、手芸品、雑貨	ボランティア活動、創作活動、セルフ協販売、地域交流活動	--	--
就労継続支援B型	17	キッチンかがやき弁当、シルクスクリーンエコバック等、とやまふおんと雑貨品、里芋真空パック	企業内実習、チューリップ球根除根、さといも作業、内職作業、セルフ協販売、弁当製造、他店舗販売、野菜収穫	--	--

6 保健・給食関連状況

健診等実施状況

健康診断、インフルエンザ予防接種

7 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練 2 回

グループホーム

ホームやつわ(ホームあやこ、ホームいするぎ)
 ホーム柴田屋(ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第2)
 日中サービス支援型ホームごごみ

1 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数
ホームやつわ	19	0/0	18	18.0	19	0/2	16	17.3	19	2/1	17	17.3
ホーム柴田屋	23	2/3	21	22.1	23	1/0	22	21.9	23	2/1	22	22
ホームごごみ	20	1/2	18	17.7	20	1/2	17	17.5	20	1/2	16	15.8

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	療育 手帳		身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B			A	B			A	B		
ホームやつわ	4	14	2	2.8	6	10	2	2.8	6	11	2	2.8
ホーム柴田屋	2	17	2	3.2	2	17	2	3.3	3	17	2	3.3
ホームごごみ	9	7	5	5	10	7	4	4.8	10	6	3	4.8

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
ホームやつわ	2	4	10	2	2	4	8	2	3	5	7	2
ホーム柴田屋	7	3	10	1	8	3	10	1	10	3	9	0
ホームごごみ	4	5	7	2	2	6	7	2	2	6	7	1

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	21歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	21歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)
ホームやつわ	0	12	6	55.5	0	9	7	59	1	9	7	56.7
(男)	(0)	(6)	(2)	---	(0)	(4)	(2)	---	(1)	(5)	(2)	---
(女)	(0)	(6)	(4)	---	(0)	(5)	(5)	---	(0)	(4)	(5)	---
ホーム柴田屋	0	14	7	54	0	15	7	54.7	0	16	6	54.6
(男)	(0)	(6)	(7)	---	(0)	(9)	(7)	---	(0)	(10)	(6)	---
(女)	(0)	(6)	(0)	---	(0)	(6)	(0)	---	(0)	(6)	(0)	---
ホームごごみ	0	5	13	68.6	0	3	14	69.9	0	2	14	71.4
(男)	(0)	(3)	(6)	---	(0)	(2)	(7)	---	(0)	(2)	(7)	---
(女)	(0)	(2)	(7)	---	(0)	(1)	(7)	---	(0)	(0)	(7)	---

2 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

ホームやつわ
 (やつわ、あやこ、いするぎ)

ホーム柴田屋
 (柴田屋、柴田屋みなみ、庄川、庄川第2)

ホームごごみ

火災避難訓練
 住居各2回

住居各2回

2回

水害避難訓練

ホーム柴田屋1回

放課後等デイサービス事業所 きつずるーむクローバー

1 職員研修

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外部研修	11回	11回/オンライン46回	15回/19回
内部研修	2回	2回	8回
自己啓発研修	0回	0回	1回

2 来園者

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見学	17団体(個人)	17団体(個人)	12団体(個人)
ボランティア	3団体(個人)	6団体(個人)	9団体(個人)
実習生			
大学	1人	0人	0人
短期大学	0人	1人	0人
専門学校	0人	0人	0人
高校	0人	0人	0人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数
在籍状況	10	--	32	10.7	10	--	32	10.1	10	4/4	28	9.8

2) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他
計	26	5	1	0	27	5	0	0	23	4	1	0
(男)	(20)	(5)	(0)	(0)	(21)	(4)	(0)	(0)	(16)	(3)	(1)	(0)
(女)	(6)	(0)	(1)	(0)	(6)	(1)	(1)	(0)	(7)	(1)	(0)	(0)

3) 障害種別ごとの利用状況

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他
計	2	8	27	2	2	7	21	2	3	8	16	1
(男)	(1)	(5)	(22)	(1)	(1)	(5)	(19)	(1)	(2)	(6)	(12)	(0)
(女)	(1)	(3)	(5)	(1)	(1)	(2)	(3)	(1)	(1)	(2)	(4)	(1)

4 サービス提供状況

	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事 他
4月	買物学習 テイクアウトラン チ お寿司づくり	図書館、柳瀬体育 館、水記念公園	運動、楽器遊び、ドラ イブ、ダンス、ピック カルタ、クイズ、わな げ、音楽療法	作品作り、おやつ 作り	お誕生会、壁面装 飾、花見
5月	茶道教室 育てよう	図書館、柳瀬体育 館、公園	運動、楽器遊び、ダン ス、ピックオセロ、ク イズ、わなげ、映画鑑 賞	作品作り、おやつ 作り	お誕生会、壁面装 飾
6月	育てよう	図書館、柳瀬体育 館、公園	運動、楽器遊び、ドラ イブ、ダンス、クイズ、 わなげ、映画鑑賞、新 聞紙遊び、折り紙遊	作品作り、おやつ 作り	お誕生会、壁面装 飾、ひまわりの種 植え（ものがた りの街）

			び、トランプ遊び		
7月	お楽しみランチ 買い物学習 育てよう アンガーマネジメ ント勉強会 食中毒勉強会	図書館、エレガガー デン、氷見	運動、楽器遊び、ドラ イブ、ヒップホップ、 クイズ、わなげ、ビッ グカルタ、ビッグ神経 衰弱、新聞紙遊び	作品作り、おやつ 作り、臨床美術	お誕生会、壁面装 飾、海ドライブと 貝殻拾い
8月	お楽しみランチ 買い物学習 育てよう	図書館、避難訓練 (火災)、氷見ラボ	運動、手話ダンス、音 楽療法、クイズ、わな げ、プログラミング道 場、フライングディス ク教室、ビッグオセロ	作品作り、おやつ 作り、ブリザード フラワー教室、段 ボールお絵かき	お誕生会、壁面装 飾、夏祭りラン チ、釣りフェス、 ひまわり摘み取 り（ものがたり の街）
9月	育てよう 茶道教室	図書館、柳瀬体育 館、公園	運動、楽器遊び、ダン ス、ビックオセロ、 ビッグ神経衰弱、クイ ズ、わなげ、折り紙遊 び、新聞紙遊び	作品作り、おやつ 作り	お誕生会、壁面装 飾、芋ほり（東開 発環境保全会さ ん）、秋の水習字
10月	やきそば作り お仕事体験 買い物学習	図書館、柳瀬体育 館、公園	運動、楽器遊び、ダン ス、ビックカルタ、ク イズ、わなげ、トラン プア遊び、タイミン グ遊び	作品作り、おやつ 作り	お誕生会、壁面装 飾、お楽しみハ ロウィン、ハロ ウィンクイズ、秋 探しビンゴ
11月	テイクアウトラン チ お仕事体験 買い物学習	図書館、柳瀬体育館	運動、楽器遊び、ダン ス、ビックカルタ、 ビッグオセロ、クイ ズ、わなげ、タイミン グ遊び、トランプ遊 び、映画鑑賞	作品作り、おやつ 作り	お誕生会、壁面装 飾
12月	おにぎり作りで年 越しランチ テイクアウトラン チ ケーキ作り 災害講習会(水害)	図書館、柳瀬体育 館、避難訓練（水 害）	運動、楽器遊び、ドラ イブ、ダンス、ビッグ オセロわなげ、タイミ ング遊び、トランプ遊 び、折り紙遊び	作品作り、おやつ 作り室	お誕生会、壁面装 飾、クリスマスツ リー飾り、クリス マスリース作り、 クリスマス会、年 賀状
1月		図書館	運動、楽器遊び、ダン ス、クイズ、わなげ、映 画鑑賞、新聞紙遊び、 タイミング遊び、ビッ グカルタ	作品作り、おやつ 作り	初詣、壁面装飾 （巳年しめ縄 リース）、お正月 遊び、お誕生会、 お正月水習字
2月	ランチ外食	図書館	運動、楽器遊び、ダン ス、ビックオセロ、タ イミング遊び、ビッグ 神経衰弱、映画鑑賞、 クイズ、わなげ、	作品作り、おやつ 作り	壁面装飾、豆まき フェス、お誕生会
3月	テイクアウトラン チ お楽しみランチ カレー作り お仕事体験 買い物学習 茶道教室 防災体験	図書館、避難訓練 (地震)、柳瀬体育 館、なかよしコン サート(小矢部市民交 流プラザ)、四季防 災館	運動、楽器遊び、ドラ イブ、ヒップホップ、 ビックカルタ、クイ ズ、水習字、新聞紙遊 び、映画鑑賞	作品作り、おやつ 作り	ひな祭りクイズ、 壁面装飾、お楽し み反省会、お誕生 会

5 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練	1回
水害避難訓練	1回
地震緊急速報対応訓練	1回

放課後等デイサービス事業所 きつずる一むこごみ

1 職員研修

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外部研修	8回	12回	10回
内部研修	1回	5回	4回
自己啓発研修	0回	0回	0回

2 来園者

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見学	4団体(個人)	4団体(個人)	0団体(個人)
ボランティア	0団体(個人)	0団体(個人)	0団体(個人)
実習生			
大学	1人	1人	0人
短期大学	0人	0人	0人
専門学校	0人	0人	0人
高校	0人	0人	0人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数
在籍状況	10	2/1	19	10.2	10	0/4	15	8.7	10	4/4	18	9.4

2) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	6歳～ 12歳	13歳～ 15歳	16歳～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳～ 15歳	16歳～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳～ 15歳	16歳～ 18歳	他
計	11	4	4	0	11	4	4	0	11	3	4	0
(男)	(11)	(4)	(2)	(0)	(11)	(4)	(3)	(0)	(11)	(3)	(3)	(0)
(女)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)

3) 障害種別ごとの利用状況

(単位：人)

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他
計	1	10	7	1	1	10	4	0	1	13	4	0
(男)	(1)	(8)	(7)	(1)	(1)	(9)	(4)	(0)	(1)	(12)	(4)	(0)
(女)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)

4 サービス提供状況

	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事 他
4月	野菜作り、収穫	図書館、公園	戸外遊び、室内遊び、運動遊び、リズム・楽器遊び、ドライブ、カードゲーム、ボードゲーム、ボール遊び	作品作り、おやつ作り、ブロック遊び、アイロンビーズ、塗り絵	お花見、お誕生会、昆虫飼育
5月	野菜作り、収穫、花の苗植え	図書館、公園、避難訓練(火災)、SST(こんな時どうする?)	戸外遊び、室内遊び、運動遊び、リズム・楽器遊び、ドライブ、カードゲーム、ボードゲーム、お茶会、新聞遊び、ボール遊び	作品作り、おやつ作り、ブロック遊び、アイロンビーズ、塗り絵	壁面飾り、こいのぼりゲーム、昆虫飼育
6月	野菜作り、収穫	図書館、避難訓練(水害)、SST(こんな時どうする?)	戸外遊び、室内遊び、運動遊び、リズム・楽器遊び、ド	作品作り、クッキング、ブロック遊び、アイロ	壁面飾り、誕生

		(ハロウィン、SST ハール な時どうする?)	イブ、カードゲー ム、ボードゲーム、 お茶会	ンビーズ、塗り 絵、チョーク遊 び、	会、昆虫飼育
7月	野菜作り、収穫、 買い物体験	図書館、栢葉山、避 難訓練(地震)、SST (プライベートゾ ン)、アンガーマネ ジメント教室、職業 体験(ファミリー マート)	戸外遊び、室内遊 び、運動遊び、リズ ム・楽器遊び、ドラ イブ、カードゲー ム、ボードゲーム、 新聞遊び、風船遊び	作品作り、クッ キング、ブロッ ク遊び、アイロ ンビーズ、塗り 絵	壁面飾り、誕生 会、昆虫飼育、 七夕集会(パネ ルシアター)、 七夕飾り、水遊 び
8月	野菜作り、収穫、 昼食提供	御菓蔵、消防署、栽 培漁業センター、ひ みラボ、ガスト	戸外遊び、室内遊 び、運動遊び、リズ ム・楽器遊び、ドラ イブ、カードゲー ム、ボードゲーム、 映画鑑賞	作品作り、クッ キング、ブロッ ク遊び、アイロ ンビーズ、塗り 絵、スライム、 小麦粉粘土、キ ラキラボトル、 風鈴、プレゼン ト作り	壁面飾り、誕生 会、昆虫飼育、 流しそうめん、 こごみ場所(相 撲)、水遊び
9月	野菜作り、収穫	図書館、避難訓練 (地震・火災)、SST (横断歩道の渡り 方)	戸外遊び、室内遊 び、運動遊び、リズ ム・楽器遊び、ドラ イブ、カードゲー ム、ボードゲーム、 ボール遊び	作品作り、おや つ作り、ブロッ ク遊び、アイロ ンビーズ、塗り 絵	壁面飾り、誕生 会、昆虫飼育、 お月見
10月	買い物体験	図書館、西部体育セ ンター、避難訓練 (不審者)、SST(横 断歩道の渡り方)	戸外遊び、室内遊 び、運動遊び、リズ ム・楽器遊び、ドラ イブ、カードゲー ム、ボードゲーム、 風船遊び、ボール遊 び	作品作り、おや つ作り、ブロッ ク遊び、アイロ ンビーズ、塗り 絵、ひょうたん ランプ作り	壁面飾り、誕生 会、ハロウィン (スタンプラ リー・仮装)、 秋探し
11月	買い物体験	避難訓練(火災)、 SST(距離間)	戸外遊び、室内遊 び、運動遊び、リズ ム・楽器遊び、ドラ イブ、カードゲー ム、ボードゲーム、 お茶会、体幹強化 チャレンジ	作品作り、おや つ作り、ブロッ ク遊び、アイロ ンビーズ、塗り 絵、ハンドスピ ナー作り、パス テルアート	壁面飾り、誕生 会、勤労感謝の 日のプレゼント
12月	昼食提供、大掃 除、手洗い教室	避難訓練(地震)、 SST(距離間)	戸外遊び、室内遊 び、運動遊び、リズ ム・楽器遊び、ドラ イブ、カードゲー ム、ボードゲーム、 体幹強化チャレ ンジ、ボール遊び、お 茶会	作品作り、クッ キング、ブロッ ク遊び、アイロ ンビーズ、塗り 絵、キーホル ダー作り	壁面飾り、クリ スマス集会(パ ネルシアター・ ダンス・ケーキ 作り)、書初め
1月	昼食提供	地域交流(図書館・ 郵便局)、避難訓練 (火災)、SST(ふわ ふわことばとちくち くことば)	戸外遊び、室内遊 び、運動遊び、リズ ム・楽器遊び、ドラ イブ、カードゲー ム、ボードゲーム、 新聞遊び、クイズ大 会、お茶会、手品 ショー、映画鑑賞	作品作り、クッ キング、ブロッ ク遊び、アイロ ンビーズ、塗り 絵	壁面飾り、毛糸 遊び
2月	野菜種まき	避難訓練(地震)、 SST(ふわふわことば とちくちくことば)	戸外遊び、室内遊 び、運動遊び、リズ ム・楽器遊び、ドラ イブ、カードゲー ム、ボードゲーム、 風船遊び、新聞遊 び	作品作り、おや つ作り、ブロッ ク遊び、アイロ ンビーズ、塗り 絵	壁面飾り、誕生 会、節分(ファ ミリーマートと の交流)

			び、ボール遊び、お茶会、迷路		
3月	昼食提供、買い物体験	避難訓練（火災・不審者）、SST（ふわふわことばとちくちくことば）、職業体験（ファミリーマー	戸外遊び、室内遊び、運動遊び、リズム・楽器遊び、ドレイブ、カードゲーム、ボードゲーム、数字ゲーム、お茶会、3B体操、映画鑑賞	作品作り、クッキング、ブロック遊び、アイロンビーズ、塗り絵、コマ作り	壁面飾り、誕生会、ひなまつり、お別れ会、なかよしコンサート

5 防災避難訓練等実施状況

火災避難訓練	5回
水害避難訓練	1回
地震初動対応訓練	4回
不審者対応訓練	1回
防災：BCP研修訓練(地震)	1回
BCP研修訓練(大雪)	1回
手指消毒実践訓練	1回

障がい者サポートセンターきらり

1 障害児等療育支援事業

事業実施件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問療育等指導	5	8	2
外来療育等指導	24	26	30
施設支援療育等指導	11	8	7
計	40	42	39

2 相談支援事業

相談支援を利用している障害者等の人数

(単位：人)

	令和4年度								令和5年度								令和6年度							
	身体	知的	精神	発達	高次機能	重症心身	他	計	身体	知的	精神	発達	高次機能	重症心身	他	計	身体	知的	精神	発達	高次機能	重症心身	他	計
障害者	32	262	49	14	1	10	2	370	17	297	40	13	1	8	2	378	15	291	46	20	1	8	7	388
障害児	6	60	0	39	0	4	0	109	5	57	0	40	0	4	2	108	6	55	0	54	0	5	5	125
計	38	322	49	53	1	14	2	479	22	354	40	53	1	12	4	486	21	346	46	74	1	13	12	513

3 障害者就業・生活支援センター事業

事業実施件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
支援対象者登録数	520	555	609
支援対象者への相談、支援件数	3,276	2,960	3,289
内訳 就職に向けた相談・支援	(616)	(656)	(832)
職場定着に向けた相談・支援	(507)	(916)	(1,144)
日常生活、社会生活に関する相談・支援	(2)	(2)	(0)
就業と生活の両方にわたる相談	(2,151)	(1,386)	(1,313)
実習の斡旋件数	32	40	36
就職件数	22	44	46
職場訪問による職場定着支援の実施件数	368	410	501

砺波圏域障害者基幹相談支援センター

1 総合的・専門的な相談支援

1) 障がい別相談者数（延人数）

	令和4年度							令和5年度							令和6年度						
	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計
身体障害	1	1	1	2	0	0	5	9	0	10	1	0	0	20	110	0	0	0	0	0	110
重症心身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	415	1	2	0	0	0	418	124	4	155	0	0	0	283	52	20	8	0	0	0	80
精神障害	206	5	4	0	0	0	215	139	3	7	0	0	0	149	191	29	11	0	0	0	231
発達障害	159	54	0	0	0	0	213	180	49	0	0	0	0	229	74	23	16	0	0	0	113
高次脳機能障害	30	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難病等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0
支援機関等	290	202	180	185	32	4	893	432	204	199	156	28	7	1026	237	63	66	156	4	4	530
計	1101	263	187	187	32	4	1774	884	260	384	157	28	7	1720	664	135	101	156	4	4	1064

2) 相談者別相談件数（延件数）

	令和4年度							令和5年度							令和6年度						
	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計
家族	68	19	4	1	0	0	92	52	16	43	1	0	0	112	42	12	2	0	0	0	56
本人	458	26	3	2	0	4	493	271	35	81	10	0	4	401	238	20	11	5	0	2	276
福祉担当課	67	34	32	25	0	0	158	92	26	38	18	0	0	174	52	22	10	41	0	0	125
こども課	76	0	1	0	0	0	77	46	0	0	0	3	0	49	25	4	3	0	0	0	32
民生・児童委員	9	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
サービス事業所	171	107	111	38	2	0	429	130	98	124	21	1	1	375	70	13	20	22	1	1	127
相談事業所	89	84	45	70	3	0	291	149	73	45	73	2	0	342	167	36	28	85	1	0	317
支援学校	0	1	2	10	0	0	13	0	0	18	1	0	0	19	5	0	13	1	0	0	19
医療機関	43	5	5	7	0	0	60	30	2	8	2	0	0	42	21	13	2	3	0	0	39
その他	221	25	11	53	27	0	337	186	33	43	33	22	2	319	117	5	17	52	2	1	194
計	1202	301	214	206	32	4	1959	956	283	400	159	28	7	1833	738	125	106	209	4	4	1186

※ 本人に複数の支援者、関係機関等が関与するため件数が膨らむ

3) 研修

外部研修参加数（オンライン研修含む）	延75名
--------------------	------

2 地域の相談支援体制の強化

相談支援事業所への助言等件数	317回
研修会開催	3回
個別ケア検討会	延65名
相談支援事業所情報交換会	2回
主任相談支援専門員情報交換会	4回
主任相談支援専門員の相談支援事業所訪問	7事業所
講師派遣	県立支援学校、砺波市地域包括支援センター、砺波市社会福祉協議会等
	6回

3 地域移行・地域定着の促進

砺波地域精神保健福祉推進協議会等参加	5回
精神科病院と相談支援事業所との連絡会	1回

4 権利擁護・虐待防止に関する啓発

相談件数	35件
研修会開催	障害者福祉施設従事者等のための虐待防止研修
	148名

5 自立支援協議会への参加協力

基幹センター事業報告	本会議	1回
協議会協力	運営会議、相談支援事業所連絡会、サービス事業所連絡会、権利擁護・虐待防止委員会	25回
協議会参加	本会議、当事者委員会、障害者差別解消支援委員会	12回
協議会情報公開	ホームページによる活動報告等	6回

6 地域生活支援拠点等の整備の促進、運営の充実

地域生活支援拠点等 整備協力	整備運営に関するガイドライン改訂協力	1回
	認定事前協議協力	13事業所
	認定事前ヒヤリング協力	1事業所
	拠点等登録事業所リスト公開	1回

7 その他

センター事業説明	県立支援学校保護者等、射水・高岡圏域、砺波市社協	5回
3市との連携	障害福祉担当課長会議、担当者会議等	5回
各種機関等への協力	協議会理事、研修ファシリテーター等	8機関等